

ミスミグループ本社 2017年3月期 連結業績 ～ 6期連続で過去最高売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2017年3月期（2016年4月1日～2017年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2016年3月期	2017年3月期	増減率
売上高	240,139	259,015	+7.9%
のれん等償却前 営業利益 ※	28,228	29,421	+4.2%
営業利益	25,690	27,127	+5.6%
純利益	16,907	18,387	+8.8%
1株当たり純利益	61.65円	66.94円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2017年3月期の連結業績ハイライト>

1. 中国やアジアにおける販売伸長やVONA事業の積極展開等により、連結売上高は7.9%（現地通貨ベース14.6%）の増収を達成

- 2017年3月期の世界経済および日本経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。アメリカでは個人消費や在庫投資が増加し、景気回復が続きました。中国では各種政策効果もあり、消費は堅調に増加し景気持ち直しの動きが見られました。また日本でも個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢が改善しました。
- このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。これらの取り組みなどにより、自動車業界やエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業や取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業を中心に売上高が増加し、為替変動の影響を受けたものの、連結業績を拡大することができました。
- こうした結果、連結売上高は2,590億円、前年同期比で7.9%（現地通貨ベース14.6%）の増収となりました。利益については、営業利益は271億円（前年同期比+5.6%）、経常利益は264億円（前年同期比+5.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は183億円（前年同期比で+8.8%）となりました。売上、利益ともに過去最高を更新しました。

2. VONA事業、FA事業を中心に成長が継続

- 2017年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

(百万円)	売上高(百万円)		増減率	
	2016年3月期	2017年3月期	円ベース	現地通貨ベース
FA事業	76,369	84,669	+10.9%	+15.6%
金型部品事業	69,732	69,797	+0.1%	+9.1%
VONA事業	93,758	104,548	+11.5%	+16.2%
調整額(期ズレ等)	279	—	—	—
合計	240,139	259,015	+7.9%	+14.6%

- FA事業は、旺盛な自動化需要を捉えQCTを強化することにより、為替影響を受けたものの、日本、中国、アジア等で増加し前年同期比10.9%の増収となりました。
- 金型部品事業は、自動車の新規型需要の獲得などで、中国、アジア、欧州における販売は好調だったものの、為替影響等により前年同期比0.1%の増収となりました。
- VONA事業は、取扱いメーカー数が2,900メーカーとなると同時に、取扱品目数は1,750万点に達しました。こうした品揃え強化や短納期化推進などによる販売拡大に努めた結果、前年同期比11.5%の増収となりました。

3. 海外売上高は、中国・アジアにおける成長が牽引

- 2017年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2016年3月期	2017年3月期	円ベース	現地通貨ベース(※)
日本	128,938	140,301	+8.8%	—
海外(※)	111,200	118,713	+6.8%	+21.4%
中国	38,567	43,401	+12.5%	+33.1%
アジア	28,824	32,637	+13.2%	+24.9%
アメリカ	27,129	25,794	-4.9%	+5.3%
ヨーロッパ	12,115	12,588	+3.9%	+16.1%
その他	4,563	4,291	-6.0%	+9.6%

※連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期より、決算日が12月31日である連結子会社28社(MISUMI(CHINA)PRECISIONMACHINERYTRADINGCO.,LTD.他27社)については、連結決算日である3月31日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更に伴い、当期は2016年4月1日～2017年3月31日までの12か月間を連結しております。なお、2016年1月1日～2016年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

- 日本では、自動化需要の積極的な取り込みやVONA事業での積極拡販などに努めた結果、8.8%の増収となりました。
- 海外においては、為替影響により円ベースでは前年同期で6.8%増となりましたが、現地通貨ベースでは21.4%の大幅増収となりました。特に中国、アジア、欧州などにおいて製造業の新たな自動化需要を積極的に取り込み、高い伸長となりました。

4. 年間配当金は16.71円で過去最高、前年比1.29円増配

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための投資や経営基盤の拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に判断し、株主還元方針を定めています。
- 配当に関しましては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2017年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。
- 従いまして、2017年3月期の業績実績により、期末配当金は9円10銭（前年比1円5銭増）を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末実績の7円61銭（前年比24銭増）と合わせ、16円71銭（前年比1円29銭増）の予定です。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	7.61	25.0%	8.62	25.0%	16.23	25.0%
当期実績	7.61	25.0%	9.10	25.0%	16.71	25.0%
前期実績	7.37	25.0%	8.05	25.0%	15.42	25.0%

5. 2018年3月期連結業績は売上・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2018年3月期の通期連結業績予想については、商品ラインアップの拡充とコスト競争力強化を進めるほか、グローバル確実短期納期供給の強化に努めることで事業拡大を見込んでおり、7期連続で売上・利益ともに過去最高を更新する計画です。

2018年3月期 連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	290,000	31,700	31,100	21,600	78.39
前期実績	259,015	27,127	26,462	18,387	66.94
増減	+12.0%	+16.9%	+17.5%	+17.5%	—

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2018年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2017年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR担当
Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372
mail : cc@misumi.co.jp